

2022年度
YMCAフィランソロピー協会
運営方針（案）

YMCAフィランソロピー協会は、熊本における「企業人の社会貢献」の推進を掲げ誕生し、設立から26年目を迎えました。

昨年度より、新型コロナウイルスによって社会的な価値観や仕組みが大きく変化してきました。その中でオンラインによる活動が当たり前になり、新しい価値観が生まれました。オンライン形式の「おしごとカフェ」など社会変化にあわせた新しいフィランソロピー活動を継続しつつ、アフターコロナを見据えた準備をする時期にも入りつつあります。

乗り越えなければいけない社会課題は山積していますが、社会貢献の歩みを止めることなく、さらなる困難に直面する子どもたちや人々のため「よろこびあえる未来」の実現へ向けて進んでまいります。

《基本方針》

- I. ビジョンとミッションを活動の中で具体化し、実践を通して関わる人たちの共感を集めます。
- II. 感染症に配慮しながら、企業間の連携やNPOとの情報交換を深めつつ、地域社会の多様な課題と向き合います。
- III. 「新しい活動様式」の中で、地域で活躍する未来のフィランソロピストを育成していきます。

《行動計画》

新たな [**アイデア × チャレンジ**] で、以下の計画に沿って取り組みます。

- 1 オンラインを併用して「おしごとカフェ」を継続開催し、さらなる企業参加を推進します。
(連携・協働) (機会拡充)
- 2 感染症や災害等によって影響を受ける子どもたちへ社会体験の機会を提供します。
(認識向上) (機会拡充)
- 3 新型コロナウイルスによる中止を踏まえ、チャリティ・交流イベントを再考し、新たな活動につなげます。(連携・協働) (機会拡充)
- 4 オンラインを採り入れながら、企業間の交流や研鑽ができる取り組みを模索します。
(認識向上) (連携・協働)
- 5 新型コロナウイルス感染症が企業の社会貢献活動に及ぼす影響やその対策について調査し、情報発信方法の見直しを進めます。(認識向上) (連携・協働)